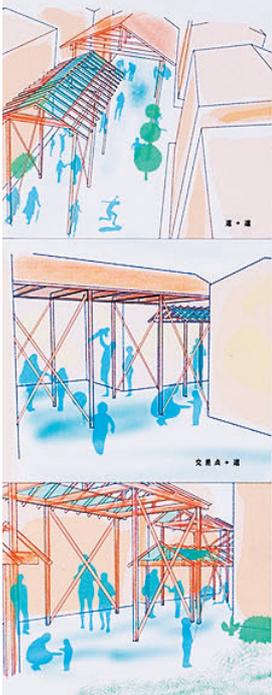


# 優勝・まちづくり委員長特別賞

## 融解と浸透

京都府 | 舞鶴工業高等専門学校 選手…3年生1名[女子1名]



融解と浸透



● コンセプト  
コミュニティの融解と浸透



従来の地区センター  
提案する地区センター

従来の地区センターは、一面所に役割が固まっており、水のような建築である。  
融解した地区センターは、地域の核を払い、コミュニティを、人・物・自然に浸透して行く。

● 提案敷地：京都府 福知山市 平野町  
住宅街を縫う歩道



平野町の住宅と住宅の間には歩行者だけが通ることができる種類の道がある。人通りは少なく閑散としているが、住宅から発せられる声や声などが聞こえ、地域核であり、交流を生む場所になると考える。

● 市場で交流を生む文化



平野町では、街に買い物に行くことが困難な高齢者のために道に1道、歩道で野菜市が設けられていた。野菜市は、等価交換とは違い、物々交換のような市場だった。

● 目に見える交換・見えない交換



提案する地区センターでの交流のきっかけはモノとモノとの交換が生である。  
目に見えるモノ（野菜、古本、古着）や  
目に見えないモノ（智慧、体験、おしゃべり）が  
居住期間によって交換されコミュニティへ

● 配置計画  
道の役割

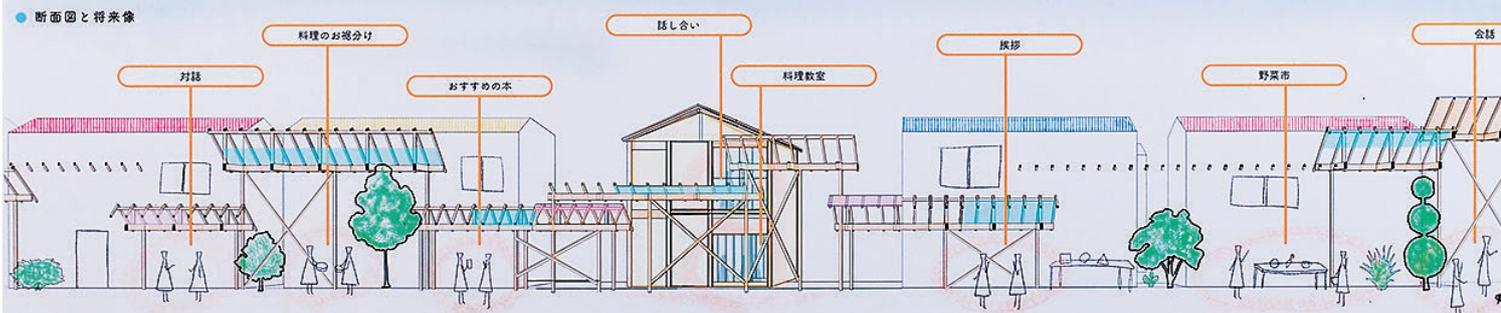


● 融解と浸透する仕掛け

1F	野菜市	古本・古着	交流の場
2F	交流の場	交流の場	交流の場
3F	交流の場	交流の場	交流の場
4F	交流の場	交流の場	交流の場

地域核の道や町のストックである空き家を活用し、地区センターを築いて行く。

● 断面図と将来像



対話 | 料理のお役分け | おすすめの本 | 話し合い | 料理教室 | 挨拶 | 野菜市 | 会議



「場」を読み取り、「社会や時代」を見、「創造性」が豊かなものが、建築甲子園で勝利する。この案の場は、時折笑い声も聞こえる住宅街の歩行者専用道と地区の空き家だ。コミュニティが不足している今の社会をモノとおしゃべりの交換などで解決しようという提案だ。

私事になるが、かつて神戸の下町に住んでいた時、主要道路以外の路地はコミュニティ空間そのものだった。特に地蔵盆などは、下町の風情と人情を表象していた。地蔵盆(毎年8月23、24日。主に、近畿地方で行われている地蔵菩薩の祭り)の際は、婆さんがご詠歌を謳い、若者は提灯吊りや飾り物・供え物の準備、子どもたちは他の地蔵に供え物のお裾分けをもらいに走り回っている。人が路地の中を動き回っている。人が主役の空間だった。

この案はそれを彷彿とさせるものがある。敷地というより場所は、住宅街を縫う緑の道と周辺の空き家だ。通例、この日本で存在している地区センターは、1カ所の施設としての箱だが、この案では、道の空間と複数の空き家で、その場が融解し空間を形成し、さまざまな交流へと浸透している。

道もいろいろある。対面した家屋の狭間や交差する場所。その空間性(屋根という装置)によって、豊か

なパブリック空間に生まれ変わらせている。

開放的な改造をした空き家。もちろん、不特定多数の人が集まる空間となるための耐震化もされている。コミュニティのヒエラルキーも考えられている。道に開かれた屋根と壁を持つ空間(空き家を改造)には、その空間(雨露が凌げる)でしかできない料理教室や話し合いを通じたコミュニティ。交差点には大屋根をかけ、通りにはさまざまな大きさや開放性を持った屋根をかけ、人の集まりのキッカケづくりを担わせている。空き家と路地(的空間)のネットワークが「地区センター」そのものとしている。案として、わかりやすく、よく理解できる。

まちづくりの手順やその仕組みに現実的な可能性を見いだせる。活用されている空き家も地域コモンとしてうまくできている。今、日本全体が抱えている地域改造(エリアリノベーション)の手法にヒントを与えているような気がする。しかし、難を申せば、その表現のためにより多くの説明や図が欲しかった。

この案は、今後のコミュニティのつくり方にヒントを与えている。

最後に、暖かい雰囲気とするコミュニティが生まれ育ちそうな配置図のイラストが功を奏したことを付け加えておきたい。優勝おめでとう。(森崎)

### 受賞のことば

この度、最優秀賞とまちづくり委員長特別賞という素晴らしい賞に、「融解と浸透」を選んでいただき、ありがとうございます。

この作品は、監督の尾上先生や多くの助け、支えによって完成させることができました。

「融解と浸透」は、福知山市の平野町を対象に、道

を利用した地区センターの提案です。従来の地区センターは、1カ所に役割が固まっている氷のような建築だと捉え、コミュニティを人・町・日常に浸透していく、融解した地区センターをめざしました。

今後は、建築の勉強に励み、将来の夢に向かって突き進みたいと思います。